



# NISHIKI

神様と、仏様と、観音様と、共に住む町。

2017

熊本県 錦町  
町勢要覧



CONTENTS

四季を慈しむ 季節ごとのテーマで町の自慢の風景を紹介

Spring .....	4
Summer .....	6
Autumn .....	8
Winter .....	10

歴史を慈しむ 町に残る様々な文化遺産を紹介

今に息づく時の宝物 .....	12
兵法 タイ捨流 .....	14
人吉海軍航空基地跡 .....	16
日本遺産 .....	18

営みを慈しむ 町の魅力である人と産業を紹介

魅力ある「人」が町の宝物 .....	20
伝統の技が生み出す新しい形という命 .....	22

恵みを慈しむ 町の物産 .....	24
こころの宝物 Uターン移住 .....	26
キラキラの宝物 子育て支援 .....	28
「楽しむ」を日常に CULTURE&SPORT .....	30
歳時記 .....	32
錦町Map .....	34
まちづくり基本方針 .....	36
議会 .....	38
町長あいさつ .....	39



錦町とは

熊本県の南部、球磨郡の南に位置し、昭和40年4月1日に町制を施行し現在の「錦町」となりました。町内を流れる球磨川の恵みを受け、基幹産業である農業と林業が盛んな町です。長い歴史の中で培われた文化遺産も多く、近年では人吉海軍航空基地跡の発見により観光にも期待が寄せられるようになりました。



町の花  
ツクシイバラ



町の木  
かし



町の鳥  
ホオジロ



町民憲章

一、自然を大切にする  
美しい町をつくります

一、きまりを守る  
住みよい町をつくります

一、健康で  
明るい町をつくります

一、文化を育む  
豊かな町をつくります

一、希望と生きがいのある  
楽しい町をつくります







写真提供：国立科学博物館

百年前のツクシイバラの標本

正六年、植物学者である前原勘次郎氏が旧球磨郡上村（現あさぎり町上）にて「ツクシイバラ」として標本を採取したのがこの花が歴史に登場した始まりです。その後、幾度の学名変更により現在は「ツクシイバラ」として親しまれています。発見当初から非常に稀な種として報告されていました。しかし河川環境の変化や盗掘により、一時は熊本県のレッドデータブックに掲載されるも、地元有志による保存会「球磨川ツクシイバラの会」の手厚い保護活動により、現在は錦町とあさぎり町の球磨川河川敷一帯にピンクの可憐な花姿を見ることができるようになりました。ツクシイバラの群生地は全国でも珍しいことから、錦町では町の花に指定しています。県外のファンも多く、開花時期には多くの見学者が訪れる、愛されている野ばらです。

# 大

正六年、植物学者である前原勘次郎氏が旧球磨郡上村（現あさぎり町上）にて「ツクシイバラ」として標本を採取したのがこの花が歴史に登場した始まりです。その後、幾度の学名変更により現在は「ツクシイバラ」として親しまれています。発見当初から非常に稀な種として報告されていました。しかし河川環境の変化や盗掘により、一時は熊本県のレッドデータブックに掲載されるも、地元有志による保存会「球磨川ツクシイバラの会」の手厚い保護活動により、現在は錦町とあさぎり町の球磨川河川敷一帯にピンクの可憐な花姿を見ることができるようになりました。ツクシイバラの群生地は全国でも珍しいことから、錦町では町の花に指定しています。県外のファンも多く、開花時期には多くの見学者が訪れる、愛されている野ばらです。

南九州独特の貴重な野ばら

## ツクシイバラ



群生するツクシイバラ

力強い枝葉を自由奔放に伸ばし、可憐な花と芳香を楽しませてくれる。見頃は5月下旬。



尺鮎の塩焼き

豊かな球磨川のみずみずしい苔を食した、30cm 越えの鮎。香ばしさの中に、爽やかな薫りが鼻腔をくすぐります。

## 球磨川

球磨の恵の源

# 人

吉球磨の食と文化を支え、歴史に寄り添い続けてきた球磨川。



夕暮れの球磨川

毎日違う表情を見せる球磨川。ダイナミックな自然の美しさを実感できます。

Nishiki Life  
Spring  
四季を慈しむ

光・風・季節の匂いを楽しみ尽くす。それが、錦流。

球磨川は、一年を通してその存在感を感じさせる川です。





リアルな自然音が  
大人の遊び心くすぐる

## 大平溪谷

おおひらげいこく



子供たちの笑い声響く  
憩いの涼場

## 高柱川遊泳場

こうばしらがわゆうえいじょう



自然体が美しい

Nishiki

Nishiki life  
Summer  
四季を慈しむ  
光・風・季節の匂いを  
楽しみ尽くす。  
それが、錦流。

**錦** 町には、様々な水場があります。人吉球磨の盆地を取り囲む山々により蓄えられた水が湧水として湧き出しており、今なお人々の生活用水として利用されています。それからもわかるように、この地の水は大変柔らかく、甘く、とても飲みやすく、人々の生活に欠かせない潤いを与えています。

中心部からそう遠くない避暑地。蟬の声と浅瀬を流れる清水の音、そこには子どもたちの声がこだまし、夜はホテルが乱舞する「高柱川遊泳場」が活気を増します。また、携帯電話の電波が届かない「大平溪谷」は『デジタルデトックススポット』としても注目を浴びています。

空を映す水田、子どもたちが通学する道路の脇、ま川鉄道「武駅」の近く、人々に愛される「水」は今日も私たちを潤してくれています。



### クレソン自生地

肥後西村駅の近くに流れる小川。緑美しいクレソンが自生しています。



### 新田溝 しんでんみぞ

近辺の住民の生活用水として現役の溝。数百年前、手掘りで作られました。



### 東方湧水 ひがしかたゆうすい

地域の憩いの場になっている湧水池。透明度の高さに心が踊ります。





### 赤が美しい夕日

この季節になると、夕日の赤が鮮烈に。郷愁を誘います。



### 園児の稲刈り体験

一斉に稲刈りが始まる秋。稲刈り体験をする園児の賑やかな声が響きます。



### 夕日に輝くススキ

茜色の夕日が路端のススキを輝かせ、秋の訪れを告げます。



**日** に日に朝晩の空気が冷たくなつていく秋、町は黄金の頭を垂れる稲穂で埋め尽くされます。十月、一斉に刈り込まれ稲株を残した田んぼの風景に、伝統農法の「掛け干し」が姿を現します。

人吉球磨の気候が最後の仕上げを行う「掛け干し」。数百年前より続くこの農法は、未だ人の手によってしか作ることが出来ず、その手間から、高齢化の進む農村ではその姿を消しつつありました。しかし今、その農法によって生み出される「お米」の美味しさに、都市部からの需要が高まっています。

子どもの頃に一度は手伝ったことのある「掛け干し」の風景は、まさに「ふるさと」そのもの。私たちの手で、未来まで絶やすことなく繋ぎ、守り抜きたい誇りある農村の風景です。



自然体が美しい

Nishiki





**大** 二十三年、旧国鉄湯前線として人吉駅を分岐駅とした湯前町まで二十四・九キロの線区が誕生しました。この路線が後に様々な沿革を経て現在の「くま川鉄道」となります。当時の橋梁や駅舎がそのまま残るこの鉄道は、今も町民の生活に密着した、地域の鉄道として親しまれています。広大な田園の中を走ることから、ついた車両の名前は「田園シンフォニー」。水戸岡鋭治氏のデザインによるこの車両を目当てに、全国の鉄道ファンが訪れる観光列車としての顔と、地元で学生たちの通学列車としての顔を合わせ持つ、ちょっとプレミアムな車両です。また、歴史を持つこの線路沿いには「木上（きのえ）駅」のプラットホームと、町内の川に架かる五箇所の橋梁が国登録有形文化財として登録されています。

## くま川鉄道

カラフルな車両カラーは全5色。春（ベージュ）・夏（青）・秋（赤）・白秋（白）・冬（茶）のテーマカラーで色分けされています。普段は主に2両編成で運行しています。



## 通票閉塞

**く** ま川鉄道には、鉄道ファンが喜ぶ、もう一つの顔があります。それが「通票閉塞」と呼ばれる運行システムです。鉄道車両は制動距離が長いため、危険を視してからのブレーキでは間に合いません。そのため、線路を一定区間（閉塞区間）に区切り、その区間に同時に二つの車両が入らないように管理するシステムです。鉄道が走り出した当時は全国でよく運用されたシステムですが、非自動閉塞方式（人手を介する閉塞方式）として今でも採用されているのは、くま川鉄道と、全国でも数箇所のローカル鉄道だけです。



自然体が美しい





# 今に息づく 時の宝物

Chronology

縄文時代	別府前遺跡 別府堤尻遺跡 〈一武・別府/本別府〉
弥生時代	夏女遺跡 〈木上・高原〉
古墳時代	亀塚古墳群 京ガ峰横穴群 四ツ塚古墳群 〈西・内門〉 〈西・京の峰〉 〈木上・平野〉
古代	下り山須恵窯跡群 釈迦如来坐像 岩城 〈一武・狩政〉 〈木上・荒田〉 〈木上・岩城〉
中世	木本神宮 二宮神社 迫の庚申塔 新宮寺六観音 窪田越後一族の墓 〈木上・岩城〉 〈木上・覚井〉 〈木上・迫〉 〈西・久保宇野〉 〈木上・岩城〉
江戸時代	円鏡庵跡 安心の供養碑 丸目蔵人佐長恵の墓 桑原家住宅 百太郎溝 幸野溝 木上溝 焼耐墓 〈一武・本別府〉 〈西/一武/木上〉 〈二武・切原野〉 〈二武・狩政〉 〈二武〉 〈二武〉 〈木上〉 〈木上・平良/目郎〉
明治時代	西南戦争従軍記念の灯籠 日露戦争戦捷紀年碑 大正初年の耕地整理記念碑 くま川鉄道橋梁群 〈木上・迫〉 〈木上・山下〉 〈西/一武/木上〉
大正時代	人吉海軍航空基地跡 〈木上〉
昭和時代	

Nishiki Life  
History  
歴史を慈しむ  
連綿と流れる時間が残した  
宝物を愛でる。  
それが、ふるさと。



一武八幡宮



京ガ峰横穴群



新宮寺 木造六観音坐像



桑原家住宅



球磨川第四橋梁



荒田観音堂  
木造釈迦如来坐像

**一** 武八幡宮：心神天皇、神功皇后、玉依姫命を祀る神社。一武内村集落にあります。建立時期は不明ですが、嘉吉四年（一四四四）にこの地に遷座したとの記録があります。例祭日は十一月二十日で、戦前は相撲、神楽、弓道などが行われ賑わいを見せていました。近年は、人気アニメの聖地巡礼スポットとして注目されています。

**京** ガ峰横穴群（県指定史跡）：六世紀後半に造られたと考えられ、球磨川と川辺川が合流する地点から南側の阿蘇溶結凝灰岩の崖面にある横穴群です。入り口の周りに靱（ゆぎ）や、剣、盾、車輪状文が浮き彫りと彩色で表現された最南端の装飾古墳です。

**木** 造六観音坐像（町指定文化財、日本遺産構成文化財）：天正四年（一五七六）、火災により全焼した焼け跡から六寸ほどの金色の仏像が見つかったことから、十八代相良義陽が新たに六鉢の観音像を造立することを発願し、天正五年（一五七七）から寛永七年（一六三〇）の五十二年の間に彫像されています。年代を追ってそれぞれ違う仏師が彫像していることが大変珍しいといわれています。

**桑** 原家住宅（国指定重要文化財）：かつて人吉球磨地方に多く見られた鉤屋（かぎや）型の民家で、建築は江戸時代後期の文政（二八一八〜三〇）の頃といわれています。主屋は「さしき」「あらけ」「なかのま」が一列に並ぶ棟と、これに直角につながる「だいどころ」「どろじ（土間）」の二部屋がある棟から構成されています。

**球** 磨川第四橋梁（国登録文化財）：大正十三年（一九二四）に建造された、十四連のデッキ・ガード構造の桁で構成された橋梁です。三三〇メートルという旧国鉄湯前線建設において最長の橋梁です。当時の最先端技術を積極的に取り入れ、施工されました。

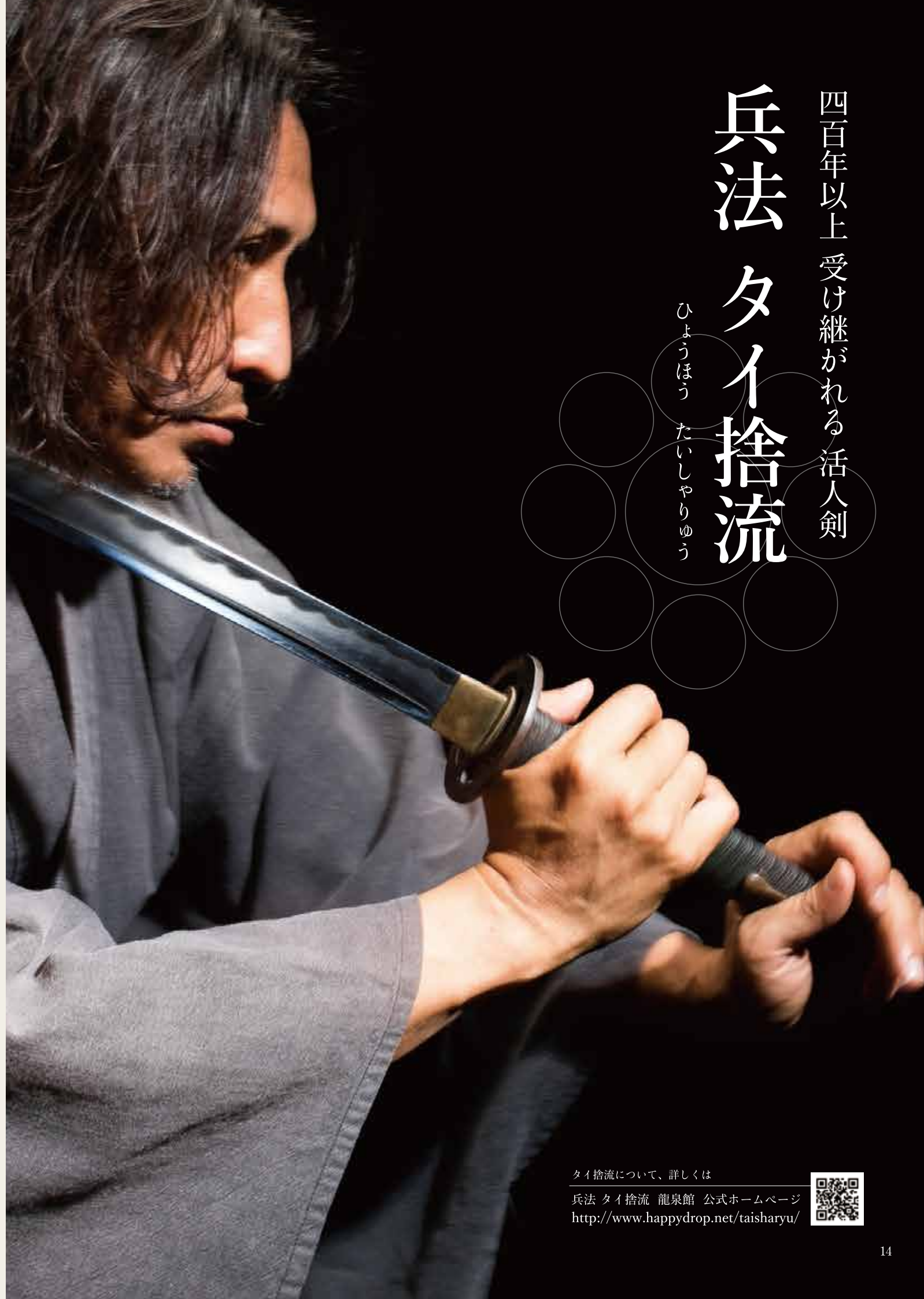
**木** 造釈迦如来坐像（県指定重要文化財）：像高九七センチ、ホ木材を使用した割削造（わりはぎづくり）で、胎内に「奉造立釈迦如来像・天台僧林与・保延七年二月十四日」と墨書銘があります。保延七年（一一四一）とは平安時代後期、相良氏の球磨郡入国以前で、当地を支配していた平河氏が造立したものと考えられます。年紀の銘を有する仏像では球磨郡で最も古い仏像です。



四百年以上受け継がれる活人剣

# 兵法 タイ捨流

ひょうぼう たいしやうりゅう



兵法 タイ捨流の流祖にして  
「東の新影流、西のタイ捨流」  
といわしめた剣豪



## 丸目蔵人佐長恵

まるめくらんどのすけながよし

### 天

文九年（一五四〇）八代郡に生を受け、若くして上京。上泉伊勢守信綱に新陰流を学び、四天王の一人となった蔵人は、足利十三代將軍義輝に演武を披露して感状を受けます。その後、戦国の武将筑後山下の城主蒲池鑑廣や勇将柳川城主立花宗茂に新陰流を授けた免状は今も保存されています。やがて新陰流を離れて、より実践的な剣法タイ捨流を創始。西国に広め、示現流を採用する前の薩摩藩はタイ捨流を相伝しました。あるとき徳川幕府の指南役柳生但馬守宗矩に試合を挑み「童虎相搏つは非、天下を二分せん」と説得された話や、巖流島決闘のあとで訪れた宮本武蔵に、タイ捨流二刀の型を伝授したという話など、逸話も多く残ります。晩年は一武村（錦町一武）に隠棲して、村人とともに七町歩余の山野を拓きました。その田畑や水路や植林地は、今も恵みをもたらし続けています。人柄良く、村人に慕われた蔵人。元和四年（一六一八）、京都からローマに送ったイエズス会宣教師の報告書には、高潔で品格ある蔵人の風貌が描かれています。寛永六年（一六二九）、没。八十九歳でした。墓前には追善のために村人で建てた石灯籠があります。



錦・くらんど公園

道の駅錦に隣接する「くらんど公園」には丸目蔵人と少年剣士の像を建立しています。大きな遊具のある「わくわく冒険広場」と「わんぱく広場」、水辺の生き物を観察できる「錦池」などがあり、休日には家族連れで賑わいます。



剣豪「丸目蔵人」顕彰  
少年剣道選手権大会

晩年を錦町で過ごした丸目蔵人を顕彰する剣道大会には、毎年九州各地から多くの小・中学生剣士が参加します。練習の成果を発揮して、白熱した熱戦が繰り広げられます。



丸目蔵人佐長恵の墓  
〈町指定有形文化財〉

一武切原野堂山にある、剣豪丸目蔵人佐の墓。晩年、徹斎と号した蔵人佐は相良氏から与えられた切原野の土地を開いて農耕にいそしみ、89歳でこの世を去るまで晴耕雨読に明け暮れたそうです。法名を雲山春龍居士といひます。

タイ捨流について、詳しくは

兵法 タイ捨流 龍泉館 公式ホームページ  
<http://www.happydrop.net/taisharyu/>





その覚悟を、時が伝える。

# 人吉海軍航空基地跡

ひとよしかいぐんくわんりゅうくうくうきちあちまへ



写真提供：福井弘氏

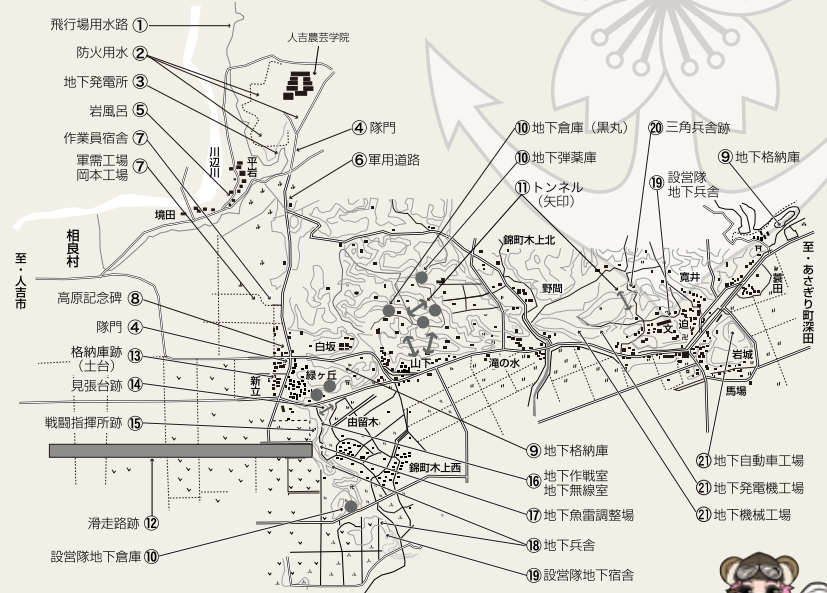


現在の庁舎居住区隊門跡

**人** 吉海軍航空基地は昭和十八年十一月から建設が始まった、県内唯一のコンクリート製滑走路を有する旧海軍飛行場で高原（たかんぼる）飛行場と呼ばれます。満十四歳以上二十歳未満の高等小学校を卒業した志願者によって構成される予科練、人吉海軍航空隊が昭和十九年二月に発足しました。鹿児島県出水市、鹿屋市、宮崎県都城市への後方支援基地として昭和二十年四月より広大な地下施設の建設が開始されます。その施設は総面積約二万五千平米、二十一種類を数え、終戦に至るまで作り続けられました。地上施設の多くは昭和二十年、三月と五月のアメリカ軍艦載機による空襲を受け壊滅していますが、地下施設は空襲の被害を免れます。現在もその四十%にあたる約一万平米、十一種類の地下施設がその歴史を今に伝えています。

Nishiki life  
**History**  
歴史を慈しむ  
連綿と流れる時間が残した  
宝物を愛でる。  
それが、錦流。

## 人吉海軍航空基地跡 遺構分布マップ



人吉海軍航空基地跡について詳しくは  
人吉球磨は秘密基地  
<http://hito-kichi.club>

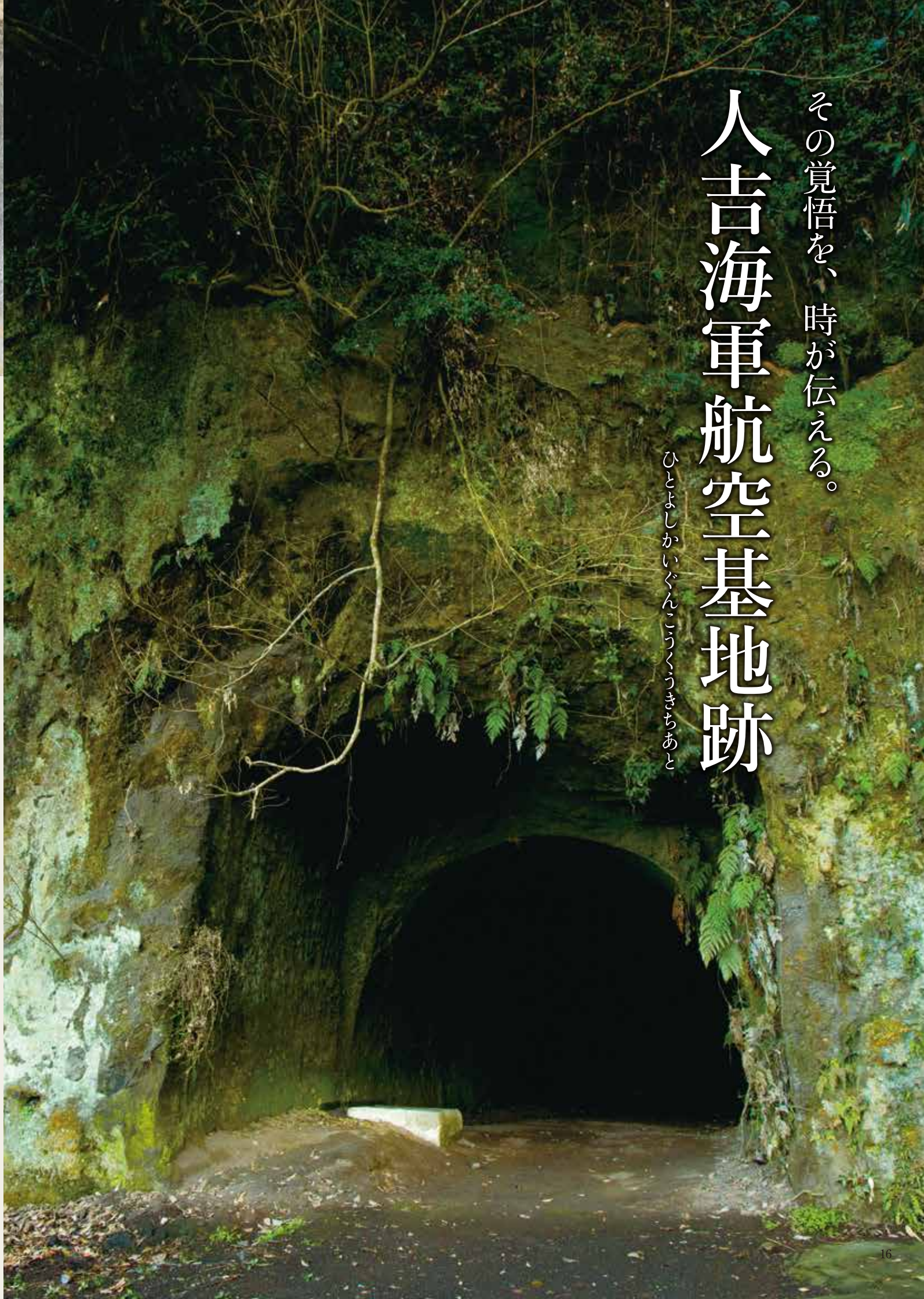


基地キャラ クマリン



## 地下無線室

ちかむせんしつ





# 錦町の無形文化財

## 1 球磨神楽

〈国指定重要無形民俗文化財〉  
球磨・人吉地域の43箇所の神社で10月8日～12月15日にかけて奉納されます。面をつけない「直面（ひためん）」が特徴で、以前は33番の演目があったとされますが、現在は17番までが残っています。

## 2 臼太鼓踊り

言い伝えによると相良藩主が武道奨励の目的で始めたもので、源平合戦をかたどるともいわれています。頭一人、関二人、脇二人の基本構成に、垣五人などが加わり、太鼓、鉦を鳴らして乱舞する様は勇壮にして華麗です。

## 福島虎踊り

一武福島地区に伝わる虎踊り。一時途絶えましたが、地域住民が復活させました。五穀豊穡を願う奉納的な踊りと違い、娯楽的要素が強い祝いの踊りで、「虎踊り」と「河合又五郎物語」の二幕からなります。武士一行や田楽売り、茶屋の亭主と娘など総勢20人で演じます。

## 羅生門踊り

昭和初期まで主に祝事の際に踊られていました。平成元年に復活。現在、23分館太鼓踊り保存会のメンバーにより継承されています。鉢巻、袴姿で太鼓と鉦を鳴らしながら軽快な古舞を披露します。「くまもと子ども芸術祭2014」に木上小学校の児童が出演しました。

## 下原女相撲

江戸時代に農業用水路「百太郎溝」の開削工事の休み時間に、女性たちが遊びで始めたのが起こり。現在は下原女相撲保存会により継承され、錦町ふるさと祭りの際に披露されます。

## 下須の建築踊り

戦後まもなく下須建築踊りとして発足し、祝事や催し物の時に踊られていました。当時の建築に関する道具の全てを用い、町長を先頭に各作業工程を再現した踊りで、現在は「七分館建築踊り」として存続しています。



JAPAN HERITAGE

日本遺産

## 相良700年が生んだ 保守と進取の文化

～日本で最も豊かな隠れ里－人吉球磨～



溶け込んでいるのが特徴的です。  
歴史小説家・司馬遼太郎が、その著書『街道をゆく』で、人吉球磨地域のことを「日本でもっとも豊かな隠れ里」と記しています。昔から愛され、守られてきた地域の文化を守りつつも、したたかに先進的な文化を吸収しながら歩んできた相良七百年の歴史ある地に、私たちは住んでいます。

日本遺産人吉球磨公式サイトより

日本遺産に認定された人吉球磨のストーリーの軸となるものが、相良氏による明治維新まで続いた七百年という長きにわたる統治です。同じ領主がこれほど長い間同じ地域を統治した例はとて珍しく、全国でも人吉球磨の相良氏以外には、三例しかありません。その七百年の統治が現在の人吉球磨の地域に遺したものは、有形・無形にかかわらず日本の歴史そのものを語るために重要である文化財群です。しかも、その文化財群が、人吉球磨の現在の暮らしのなかに脈々と受け継がれ、この地域の日常の風景として

文

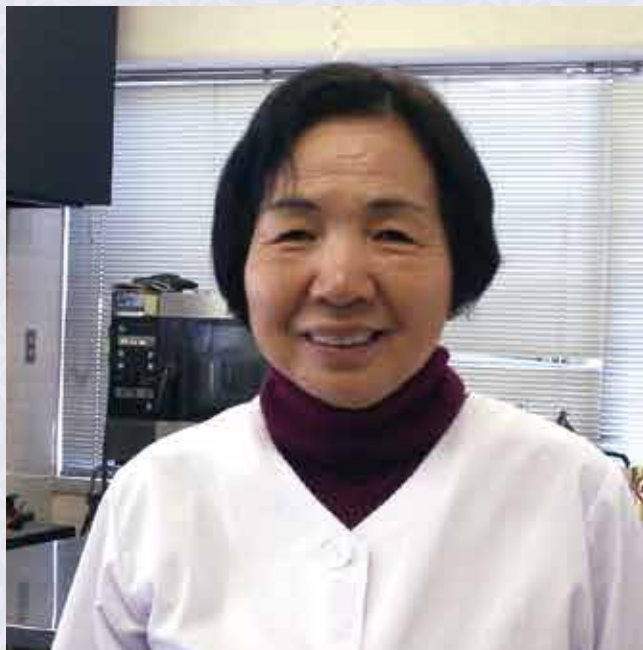
化庁が平成二十七年に創設した認定制度「日本遺産」。地域の歴史的魅力や特色を通じて、日本の文化・伝統を語るストーリーが各地で認定されました。その中で、熊本県の第一号として人吉球磨地域が全国十七地域とともに選ばれました。



歴史を慈しむ

運命と流れる時間が残した宝物を愛でる。それが、錦流。





### 高齢者向け宅食サービスで町を支える。

一人暮らしの高齢者が増え、いつかは自分も必要になるという思いから、64歳の時に思いを同じくする仲間と起業。食べる人の事を考えながら、「地元の食材」と「美味しさ」にこだわった野菜中心の弁当を、笑顔とともに宅配中。

町の台所 あかり 岩見登代美さん



### 異業種コラボで町の特産品開発。

農家と自動車整備業でありながら、錦町の子どもたちの未来のために、地元で就職できる環境づくりを目指し町の特産品開発に着手する。東京有名店の強力なサポートにより「錦棒餃子」の商品化に成功。意欲的に販路拡大を目指す。

合同会社 あぐり税所 税所昭彦さん (左)  
カーショップ安田 安田貴榮さん (右)



### 伝統建築の技を守り、受け継ぐ。

錦町に生まれ、育ち、この地に数多くある「伝統建築」の技の継承を目指す。古来の技術を尊重しつつも、現代の建築技術を取り入れ、文化財の保護を行う球磨工業高校伝統建築専攻科を修了。平成27年度には日本遺産構成文化財のひとつである木本神宮（木上岩城）の修理に携わる。

河津耕弥さん



### 初代の味を復活させ、食で幸せを伝える。

祖父が生み出した人気メニュー「黒ホルモン」。町の人たちに愛された味が一時は途絶えるが、独自に研究、再現し、今では県外からのリピーターも多い飲食店へと導く。「地元」にこだわり、「地元」に貢献したい強い想いで営業を続ける。

市房食堂 岸田博幹さん



## 町の宝物。魅力ある「人」が



錦 町には農業を中心とした、元気な企業や商店がありますが、この町が元気なのは、そこで活躍する「人」が魅力的だから。年齢や、環境にこだわることなく、自分が感じるものを信じて、精力的に行動できる「人」のパワーこそ、錦町が素敵な町であり続けるために必要なものです。町では、このように魅力ある「人」が、ますます輝けるまちづくりを目指します。現在進めている観光に特化したまちづくりも、その動きを応援する一つです。訪れたいと思う町こそが、みんなが住みたい魅力のある町である事を知り、すべての町民がこの町に住んでいることを誇りに思える。そんな素敵な町を私たちは目指します。



### 何度も帰りたくなる、おもてなしの民宿。

人吉球磨地域特有の「おもてなし」文化を体現する「おかあさん」が営む宿。地の食材を丁寧に調理し、目にも楽しめる「田舎料理」へと生まれ変わらせる。そのあたたかさ、毎年海外からもリピーターが訪れるほどのパワースポット民宿。

農家民泊 平岩の和ちゃん家 福永和子さん





Photo: 平田和弘

## 上田農具刃物製作所

うえだのうぐはものせいさくじょ

弥生時代に大陸より伝わり二千年の時を経て日本の伝統技術へと昇華した製鉄技術。上田農具刃物制作所は、創業約百二十年を数え、子々孫々受け継がれてきた『刀鍛冶』の中に息づく「技」と「心」を慈しみ、無心で鉄と対峙し、さらなる「進化」を目指す。料理庖丁、林業用刃物、農耕用刃物、工芸用刃物の他、特注による制作も行い、それらには製作者の「真心」が宿る。



日本六古窯の一つ、愛知県瀬戸の赤津地区で桃山時代より作られている赤津焼。瀬戸・美濃の桃山期の焼き物に魅せられ、食器、茶器、花器、多種多様な『使いたくなる器』、『使える器』を球磨の自然に抱かれた陶祥窯で生み出す。瀬戸の材料にこだわり、織部の「緑」を追い求め続ける。年に一度、十一月に行われる「秋の窯開き」には、県内はもとより九州各県からファンが訪れる。



## 赤津焼 陶祥窯

あかづやき

とうしようがま



伝統の技が生み出す 新しい形という命



就業者が定住しやすい住環境の整備や、既存工場の経営安定のための施策、自然環境と共生している企業の誘致にも力を入れていきます。また、地場産品を使い地域に根ざしたオリジナリティあふれる新しい工業の創出を目指しています。

- ・日本三和エレクトロニクス(株)
- ・新宮ゴルフ練習場
- ・ゼンカイミート(株)
- ・(有)トータルケアサポート
- ・藤田(株)
- ・(株)山江元気村

## 錦町を支えるちから

九州武蔵精密(株)



ルネサスセミコンダクタパッケージ&テストソリューションズ(株)熊本錦工場



球磨カントリー倶楽部



## 六調子酒造(株)



## 常楽酒造(株)



## 受け継がれるブランド 球磨焼酎

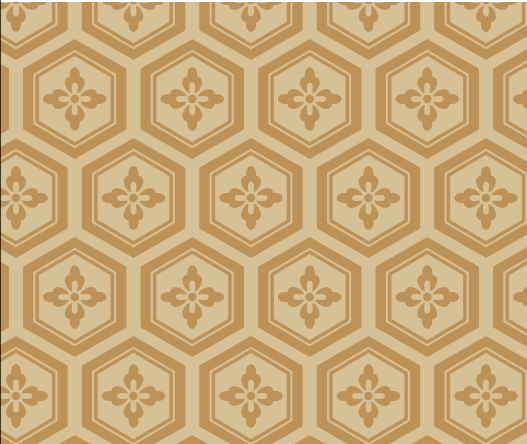
「球磨焼酎」は日本に4つしかない産地呼称が認められた本格焼酎ブランドの一つです。米のみを原料とし人吉球磨の地下水で仕込んだもろみを人吉球磨で蒸留し、瓶詰めした焼酎だけが「球磨焼酎」となります。この地が育んだ良質の米と清らかな水、杜氏のこだわりが球磨焼酎をポルドーワインなどと肩を並べる世界的な銘酒へと押し上げました。

球磨焼酎の蔵元は28箇所ありそれぞれの蔵で複数の個性ある銘柄を作っています。口当たりの良いもの、深みを持たせたもの、香り特徴としたもの、コクがあるもの。多様な味わいのパリエーションも魅力の一つです。錦町には、六調子酒造、常楽酒造、二つの蔵元があり、みんなに愛される球磨焼酎を作り続けています。





sweet  
sweet  
Fruits



一堂に会します。近年では、耕作放棄地の再活用で栽培された蕎麦も汎用性の高さから注目されています。

また物産では地元の伝統的な菓子として、さつまいもを使った芋もちや、自家製の小麦粉を使った、体に優しいかりんとう、養鶏農家から仕入れる新鮮な卵を贅沢に使ったプリンなど、食べる人の事を考えたこだわりのお菓子が揃います。全て、道の駅錦の「くらんど市」で販売されており、出品者の優しさと愛情が感じられる、錦町が誇る物産の数々です。

ぜひ一度ご賞味ください。

**錦** 町の最大の特徴である「盆地」の気候と環境が育てるみずみずしいフルーツは、県外からのファンも多い錦町の特産物です。特に桃は収穫期間が短く、市場に出回る期間が限られますが、現在、「ふるさと納税」の返礼品として大変な人気を集める一品です。ふるさと納税返礼品には他に、中身がたっぷり詰まった栗や、芳香が特徴のマスクメロン、甘さと酸味が絶妙なイチゴ、糖度の高さと果実の大きさが特徴の太秋柿など季節ごとのフルーツが

錦町には  
たけなげの  
いちごが  
ふるさと  
農産、畜産、  
地産、地消、  
新鮮安心が  
こころを  
満たす

畜産が盛んな錦町で、地産地消と観光促進をめざして始まった「にしきほるもん街道」。

様々な部位を使い、各店自慢の腕をふるったホルモン料理は、定番からアレンジメニューまで、一度は食べておきたい創意工夫を凝らした逸品が楽しめます。ぜひ、それぞれのお店の味をお確かめください。

**にしきほるもん街道**



【ニューつねまつ】  
ホルモンの唐揚げ



【喜楽苑】  
鯉ホルモン



【彩食三味 ふじ】  
ホルモン鉄板焼き



【珉珉軒】  
味噌煮込み風ホルモン



【レストランカフェ ペンギン】  
ペンギンのタマゴ



【パルティール福寿庵】  
ほるもん丼



【味処みやざき】  
ホルモン丼



【お食事処 ふるさと】  
黒ホルモン



【市房食堂】  
イチフサ黒ホルモン





こころの宝物

熊本市からUターンし9年目となる濱田喜幸さん。奥様の佳与子さん、3人のお子さんとの五人家族。移住してからの日々の生活を聞いてみました。



## 毎日が驚きの連続

例えば、都会でカメラをもってウロウロしていたら変質者だと通報されると思います。こちらでは、「〇〇君のお父さんがカメラ持っている。写真撮って」と子どもたちが話しかけてくる。ふらっと散歩をしても多くの学生があいさつをしてくれる。確かに地域の行事が多いなどとも思いましたが、そのおかげで人と人が近く、隣の人の顔を知らないということがないですよ。子どもを地域のみんなで育てている雰囲気がありますね。子どもを見守ってもらえるありがたみは外からきた人じゃないと実感できないのかもしれない。

## お金では買えない環境

少し時間ができたから泳ぎに行ってみようかと車で5分。透き通る水の流れる溪谷に行くことができます。川に行ったら泳ぐなんて都会では考えられませんでした。家から歩いていける距離にホテル百選があります。ホテルの乱舞を散歩がてら見れる、家にホテルが遊びに来るなんてロマンチックですよ。食もいいですね、採れたての野菜が食べられるなんて

最高の贅沢です。都会でBBQしようと思ったら、できるまで行ってしまうので代を払ってと一大イベントになるでしょう。こっちはだも庭でできるし、片付けを翌日に延ばしても誰も文句を言いません。こっちは人が当たり前と感じていることは、都会では贅沢そのものですよ、生活の中にも楽しみが広がっていますね。

## クリエイターとして

心配はありませんでしたか？

働く場所がないと言われますが、そこは着目点じゃないかな。田舎だからこそ生み出すこと、作り出すことができると思います。川でヤマメ釣って飲食店に売ってもいいし、やり方次第で仕事は作り出せると思います。田舎ならではの希少性であると思いますね。そもそも、何もない訳でもないし、そんなに不便とも思わないですね。実際、程よく暮らしているわけですし、インターネット回線も町中に張ってある、コンビニもある、病院も少し車を走らせたところにある、お悔やみ放送も流れるから便利(笑)。

## ライフワークの変化はありましたか？

人吉球磨の寺社仏閣の多さはすごいものがありますね。最初は興味なんて



はまだ よしゆき  
濱田 喜幸  
写真作家  
Slapstick-Photo 代表

はまだ かよこ  
濱田 佳与子  
感動演出家  
Slapstick-Photo マネージャー  
ウェディングプランナー

なかったのですが、仕事をする中で魅力に取りつかれ、新しいライフワークになりました。隣村では和紙の手漉きが残っていて写真とのコラボレーションに挑戦中です。実は、こういった素材を生かして世界進出を考えているんですよ。都会に居たら実現できなかったでしょうね。

## 全国で

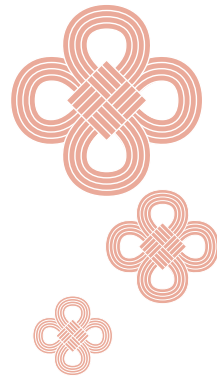
移住や定住を進めていますか？

新しいものは作れますが、古いものや自然は作れません。だけど、地方にはそれがありません。毎日がせわしく、時間がゆっくり進む。私は地域の環境や人との出会いで良い方に作風が変わり、幅も広がったと感じています。それも衣食住において、人間らしい暮らしができる毎日がここにあるからではないでしょうか。都会では音や光が常に溢れています。ここでは夜は静かで暗い、明るくなって朝が来たことを知ることができます。朝昼晩、四季を五感で感じ取ることに喜びを感じています。

ここでは何かあっても生きていける、そんな気がしますね。もうすぐ夏が来ます、家族みんなで川遊びが楽しみです。

(二〇一七年三月取材)





### 錦町子宝祝い金

町内で子供を出産した方に支給します。申請いただいた後、錦町に1年以上住所を有すること、町税などの納付状況を審査し支給します。

第1・2子	10万円
第3子	15万円
第4子	20万円
第5子以降	25万円

### ブックスタート



6ヶ月育児教室の際に、赤ちゃんとその保護者を対象に絵本の配布を行っています。絵本を通じて、親子のふれあいや赤ちゃんとの絵本の素敵な出会いのきっかけづくりをお手伝いしています。

## キラキラの宝物



い つの時代も、子どもは「宝物」です。その子どもたちの笑顔は何ものにも代えがたく、大切に守りたいもの。

錦町では、子どもたちの笑顔のための様々な親子支援を行っています。誕生後の定期検診はもちろんのこと、保護者同士の交流を通じて、子育ての悩みや発見の情報交換をできる場の提供や、親子のふれあいのお手伝いとして、ブックスタートも行っています。

また町では、子どもの成長を通じ、親子の楽しみが増える子育てのお手伝いとして、地域や保育園での様々な支援にも積極的に取り組んでいます。

将来、この町で育ったことが誇りとなるような、人のあたたかさや優しさを感じる子育ての環境づくりは町の使命です。何より、錦町には子どもの情緒を育む豊かな自然と、個性を認め助け合う素晴らしい風土があります。

錦町で子育てをする親子に笑顔が溢れるよう、私たちは様々な努力を惜しみません。これからも、子育て世代が安心して子どもを産み、育てる、まちづくりを進めていきます。

Nishiki life  
Child care  
笑顔の宝物

みんな違うから良い、色とりどりの子供の笑顔。皆で育てる、それが錦流。

- チャイルドシートの貸し出し  
町内にお住まいの家庭で子どもを連れての里帰り等で自動車を利用される際に、無料でチャイルドシートの貸し出しを行っています。  
問) 住民福祉課 Tel.0966-38-1112
- 子育て相談  
子育てに関する相談を受け付けます。電話相談・面接相談どちらも秘密厳守なので安心です。  
問) 保健センター  
Tel.0966-38-2048

子ども医療費助成  
0歳から15歳まで  
保険適用分全額

ひとり親家庭等医療費等助成  
18歳まで、保険適用分  
3分の2

錦町特定  
不妊治療助成

多子世帯に対して  
学校給食費を補助

### 錦町子育て支援 毎月の詳しい内容は、広報誌や支援センター情報紙『なかよし』に掲載しています。



**ももくらぶ**  
親子と一緒に季節の遊びや、製作遊び、砂場遊び、お散歩などをしながら元気に過ごします。



**赤ちゃんくらぶ**  
動けるようになった赤ちゃんと一緒に親子遊びを楽しみます。お食事や、生活リズムなどについての情報交換も子育ての役に立ちます。  
月齢によりコースが分かれます。



**子育てひろば**  
プレイルームで、子どもたちを遊ばせながら、乳幼児を持つ保護者同士の情報交換の場として開設しています。





## SPORTS

「楽しむ」を日常に。



**錦** 町では町民が豊かな人生を送るために、様々な生涯学習の場を設けています。中でもにしきセミナーは、毎回多数の参加者が集まる人気のセミナーです。また、健康と日々の楽しみのために、スポーツ活動も盛んに行っています。町内にはゴルフ場やグラウンド、体育館、野球場など様々な施設を完備し、中でも、グランドゴルフは大変な人気で、頻繁に大会も行われています。様々な世代でそれぞれの体力や年齢、目的に応じて気軽にスポーツやレクリエーションに親しめる町づくりを進めます。



### 錦町図書館

アットホームな雰囲気と心地よい図書館では、春の図書館まつり、七夕、ハロウィン、クリスマス、ひな祭りの季節のイベントに加え、図書館員が趣向を凝らした月ごとの「オススメの本特集コーナー」も必見です。休館日は年末年始のみで、町外の方も利用ができます。

## CULTURE

豊かな文化を育む場。

Nishiki life  
Welfare  
町の宝物  
良質の温泉、粒選りの酒肴、  
スポーツも文化も  
とことん楽しむ、それが錦流。



### 錦町総合福祉センター

温泉施設も含んだ、総合福祉センター。大小ある会議室では様々な教室が開かれています。



### にしきセミナー

年2回の講演と年1回の現地研修による全3回の生涯学習セミナー。笑い笑顔が溢れる講演と、町外へ足を伸ばし自らの町を見つめ直すきっかけを与えてくれる現地研修です。



### 文化祭

錦町文化協会主催。詩吟、日舞、フラダンス、三味線などのステージ発表と、華道、書道、絵画などの展示があり、中学校の吹奏楽、町内小学校・保育園の作品が華を添えます。



### ボランティアフェスティバル

ボランティアグループの活動発表や奉仕活動歴に応じて表彰を行うことにより、助け合いの心の活性化や、優しい気持ちを広げ繋げることを目的に開催されます。



### 生き生き大学

絵手紙、陶芸、園芸、カラオケ、太極柔力球、社交ダンス、デジタルカメラ、手芸の8講座をそれぞれ半年間各6回開催します。どれも町民に愛される、人気のある講座です。





# 歳時記

- 三月
- 二月
- 一月
- 十二月
- 十一月
- 十月
- 九月
- 八月
- 七月
- 五月
- 四月

四月 錦町消防団入退団式  
 分館対抗ソフトボール大会  
 五月 職域対抗ゴルフ大会  
 剣豪「丸目蔵人」顕彰少年剣道大会  
 開花に合わせたツクシイバイイベント  
 郡民体育祭  
 にしき町夏祭り  
 分館対抗バレーボール大会  
 七月 町民ゴルフ大会  
 相良路サイクルフェスタ  
 相良三十三観音 秋の一斉開帳  
 町民体育祭（隔年開催）  
 十月 錦町ふるさと祭り  
 錦町文化祭  
 みずあかり  
 オーガニック祭り  
 グラウンドゴルフ大会  
 フルーツゲートボール大会  
 球磨一周市町村対抗熊日駅伝大会  
 年末警戒  
 十一月 錦町成人式  
 錦町消防団出初式  
 錦町新春駅伝大会  
 どんとや  
 にしき産業フェスタ  
 分館親善ゴルフ大会  
 人吉球磨はひなまつり  
 にしきボランティアフェスティバル  
 相良三十三観音 春の一斉開帳

**ス** ポーツ系から文化系まで、錦町では様々なイベントが年間を通して行われています。町内にゴルフ場があることからゴルフイベントも多く、参加者の年齢層が幅広いことが特徴です。年間行事の中でも特に人気を集める最大のイベントが「錦町ふるさと祭り」です。役場前の広大なグラウンドで行われる祭りは二日間に及び、毎年四万人以上が来場する地域密着型の大イベントです。分館ごとに様々な格好に扮して踊るサンバは祭り最大の盛り上がりを見せます。また、錦町の大自然や古刹を自転車で巡る「相良路サイクルフェスタ」は開

催も数を重ね、県内外から多くの参加者を集める人気イベントとなっています。そして、人吉球磨といえはこれ。江戸時代から続く「相良三十三観音巡り」に尽きます。春と秋のお彼岸の時期に一斉開帳される各札所では、地元の方が用意した心温まる「おもてなし」が振る舞われます。これを目当てに巡礼する方も多く、年々巡礼者が増え、今では遠く海外からの参加も珍しいものではなくなくなっています。

このように、自然と歴史を楽しむ、魅力の尽きない様々なイベントが、錦町の一年を彩ります。





# マップ 錦町

Nishiki Town Map

四季の移り変わりが美しく感じられる大自然と、魅力的な人々の生活が訪れる人を包み込みます。

### 車利用の場合

福岡 I.C から	約 2 時間 40 分
宮崎 I.C から	約 1 時間 40 分
鹿児島 I.C から	約 1 時間 30 分
溝辺鹿児島 I.C から	約 1 時間
大分 I.C から	約 3 時間 50 分
長崎 I.C から	約 3 時間 40 分
益城熊本空港 I.C から	約 1 時間 10 分
熊本港から	約 1 時間 20 分
熊本市街地から	約 1 時間 20 分

### JR利用の場合

熊本駅から人吉駅まで	約 1 時間 30 分
鹿児島中央駅から人吉駅まで	約 2 時間 20 分
博多駅から人吉駅まで	約 2 時間





# 錦町の未来を考えた町づくり

美しい自然と  
調和した  
まちづくり

1

町の財産である緑、水などの美しい自然・景勝と調和した町の創造を基調として、計画的な住宅の形成や工業地の適正な配置を進め、秩序あるまちづくりを推進します。

庁舎を核とした中心部の形成、商業集積の促進、公共施設の設備を推進し利便性の高い、魅力ある町形成を図ります。

さらに、広域交通網と連携した町道の拡充・改良を進め、計画的な交通体系を確立するとともに、身近な生活道路の改善や交通安全施設の整備を進め、快適で安全な環境の実現に努めます。

人の和を大切に  
快適に暮らせる  
まちづくり

2

町の豊かな自然と調和した快適な生活環境を確立するため、すべての町民が和を大切にし協力することで、身近な生活道路や公園、広場などを整備するとともに、自分たちの財産として守り育てる活動を推進します。

一方、災害に強いまちづくりを進めるため、緊急情報伝達システムを導入するなど、消防・防災体制を充実するとともに、安全な生活環境を創造するため、交通事故・犯罪など町民生活を脅かすあらゆる要因の除去に努めます。

安心して  
いきいきと暮らせる  
まちづくり

3

次世代を担う幼児・児童が健やかに育つよう、社会環境や家庭環境の変化に対応しながら家庭状況に応じた経済的な負担軽減への支援や子育てと仕事の両立支援を図るとともに、地域みんなで育てる体制づくりなどの充実に努めます。

また、高齢者に対しては、医療・介護が社会的に保険制度によって支援されていますが、今後は、高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を送れるよう保健・医療・福祉の連携のもとに住環境の整備充実に努めます。障がい者についても、地域での生活を支える在宅福祉サービスの充実に努めるとともに就労機会の拡充など社会参加を支援していきます。

人の和を大切にし  
老いても安心して暮らせる町  
若人に夢と希望が持てる町



人づくりで  
まちづくり

4

人間形成の基礎を培う幼児期において、心身の健全な発達を保つため、家庭と地域社会の教育環境の充実を図ります。

情報化や国際化など新たな社会変化に対応していく創造性と生きる力を育むため、教育内容及び指導方法を充実し、また、児童・生徒の豊かな人間性を育むとともに学校施設の充実と有効活用を図ります。

すべての町民が生涯を通じ、豊かな生活を築くための知識と教養を身につけ、豊かさが実感できる生活を送れるよう、生涯学習の基盤整備と学習機会の充実を図ります。

誰もが  
夢と希望を持って  
働けるまちづくり

5

成熟社会を迎える中で、本町経済の持続的発展を図り、住民の真に豊かな生活を実現するために、本町産業が社会環境の変化に柔軟に対応でき、かつ、着実な成長を遂げることが求められます。

このため、関係機関との連携のもとに積極的な企業誘致と住民及び企業の主体的活動を基本とした産業政策により、既存産業の高度化と高付加価値化を図るとともに、環境や健康・文化などに関する新たなニーズに対応した産業を創出し、魅力ある雇用機会の拡大に努めます。

行財政改革と  
町民主役の  
まちづくり

6

地方分権一括法の施行や地方自治法の改正、三位一体の改革など、地方自治体を取り巻く環境の大きな変化に対応し、町民主役のまちづくりを進めるための自治の体制を整備します。

そのために、情報開示や住民参画などにより行政を身近で信頼できるものとなるように努めるとともに、住民自治を基本的な行政の根幹として、住民による自主的・主体的な地域運営の確立と行政の協働によるまちづくりを目指します。



# 議会



町民の声を町政に反映させるため、活発に意見を交換し議論し合います。年4回の定例会と、必要に応じて臨時会が開催されているほか、総務建設、厚生文教経済の2つの常任委員会と特別委員会があり、きめ細やかな活動を行っています。

## 定例会



## 常任委員会



## 錦町議会構成



副議長  
金山民幸



議長  
市田昇

代表監査委員 古里道明

議選監査委員 右田宣之

### 議会運営委員会【5名】

委員長 土肥俊一  
副委員長 岡田武志  
委員 高田孝徳  
委員 柳瀬みどり  
委員 荒川孝一

### 総務建設常任委員会【6名】

委員長 柳瀬みどり  
副委員長 池田秀晴  
委員 市田昇一  
委員 土肥俊一  
委員 久保田文男  
委員 右田宣之

### 厚生文教経済常任委員会【6名】

委員長 荒川孝一  
副委員長 藤川喜一  
委員 金山民幸  
委員 高田孝徳  
委員 守永慶次郎  
委員 岡田武志

### 人吉球磨広域行政組合議員

高田孝徳  
守永慶次郎  
藤川喜一

### 人吉下球磨消防組合議員

久保田文男



## 町長あいさつ

### 町

勢要覽をお読みいただきありがとうございます。ありがとうございます。私たちの住む錦町の伝統・文化・生活・人を、写真を交えてご紹介してまいりました。

錦町は熊本県の南部に位置し人口は一万一千人。周りを山々に囲まれている自治体です。都会に比べると「何もない」と思われるかもしれませんが、そんなことはありません。ここにしかないものがたくさんあります。日本遺産認定が証明しているように七百年を超える歴史文化を守り続け、生活の中に息づくライフスタイル。そして、現代においても手と手を取り合い助け合い、地域を盛り上げるコミュニティ。町中に笑顔があふれ、町のいたるところから挨拶の声が元気に聞こえてきます。

錦町は都会でもないが田舎でもない「暮らしやすい町」と言っていただけです。

「心の豊かさ、人の営み、暮らしやすさ」といった町民の視点でのまちづくりを実践し、誰もが、幸せを実感できるよう取り組み、結婚、出産、子育て、老後の生活、働く場の創出など安心して暮らし続ける

ことのできる政策を推し進めているからだと思います。そのような政策が実り、合計特殊出生率が全国十三位に位置することも自慢の一つです。

本誌を手にとっていただいた皆様、ぜひ、錦町をお楽しみください。

春にはツクシイバラを始め、桃、梨の花が町のいたるところに咲き、夏には溪谷で涼み、ホタルを眺め、秋には紅葉、冬には農産物と特産のホルモンが入った鍋を囲み球磨焼酎を楽しむ。四季を通して自然と食を満喫いただけます。

最後に、本誌ではご紹介しきれない部分も多数あります。今後、多くの方が錦町を訪れていただくことを切望し挨拶とさせていただきます。

平成二十九年三月



錦町長 森本 完一





〒868-0392 熊本県球磨郡錦町大字一武 1587 錦町 企画観光課 TEL.0966-38-4419 FAX.0966-38-1575  
<http://www.nishiki-machi.com/>